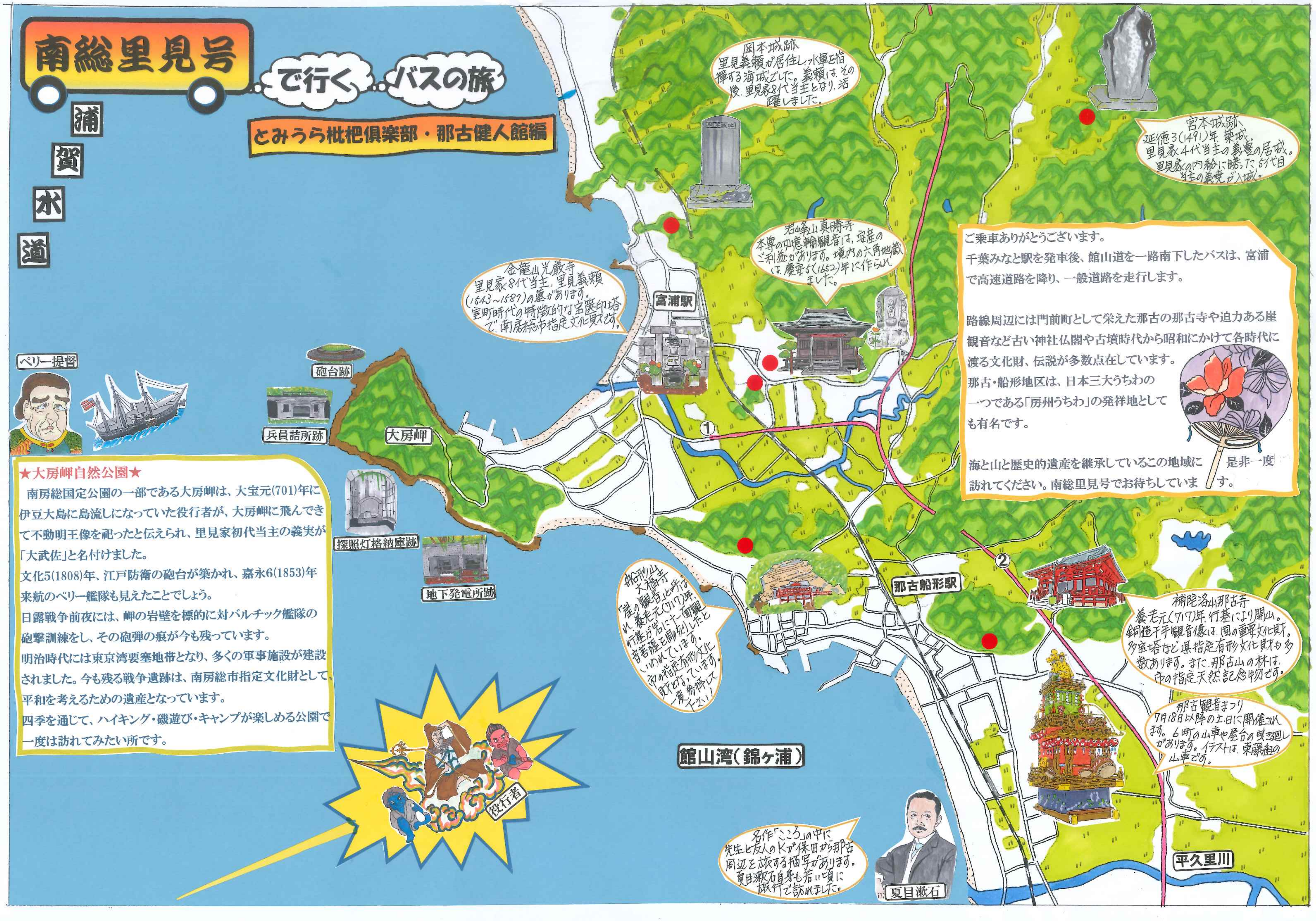
停留所名①とみうら枇杷倶楽部②那古健人館

南総里見号で行くバスの旅

とみうら枇杷倶楽部・那古健人館編



岡本城跡
里見義頼が居住し、水軍を指揮する海城でした。義頼は、その後、里見家8代当主となり、活躍しました。

宮本城跡
延徳3(1491)年、築城。
里見家4代当主の義豊の居城。
里見家の内紛に勝った5代目当主の義堯が入城。

岩峯山真勝寺
本尊の如意輪観音は、安産のご利益があります。境内の六角地蔵は、慶安5(1652)年に作られました。

金龍山光厳寺
里見家8代当主、里見義頼(1543~1587)の墓があります。
室町時代の特徴的な宝篋印塔で、南房総市指定文化財です。

船形山大福寺
「崖の観音」と呼ばれ、養老元(717)年、行基が岩に十一面観音菩薩を彫刻したといわれています。
市の指定有形文化財となっています。
一度参拝して下さい！

補陀洛山那古寺
養老元(717)年、行基により開山。
銅造千手観音像は、国の重要文化財。
多宝塔など県指定有形文化財も多数あります。また、那古山の林は、市の指定天然記念物です。

那古観音まつり
7月18日以降の土・日に開催されます。6町の山車や屋台の曳き廻しがあります。イラストは、東藤組の山車です。

名作「こころ」の中に先生と友人のKが保田から那古周辺を旅する描写があります。
夏目漱石自身も若い頃に旅行で訪れました。

ご乗車ありがとうございます。

千葉みなと駅を発車後、館山道を一路南下したバスは、富浦で高速道路を降り、一般道路を走行します。

路線周辺には門前町として栄えた那古の那古寺や迫力ある崖観音など古い神社仏閣や古墳時代から昭和にかけて各時代に渡る文化財、伝説が多数点在しています。

那古・船形地区は、日本三大うちわの一つである「房州うちわ」の発祥地としても有名です。

海と山と歴史的遺産を継承しているこの地域に是非一度訪れてください。南総里見号でお待ちしています。

★大房岬自然公園★

南房総国定公園の一部である大房岬は、大宝元(701)年に伊豆大島に島流しになっていた役行者が、大房岬に飛んできて不動明王像を祀ったと伝えられ、里見家初代当主の義実が「大武佐」と名付けました。

文化5(1808)年、江戸防衛の砲台が築かれ、嘉永6(1853)年来航のペリー艦隊も見えたことでしょう。

日露戦争前夜には、岬の岩壁を標的に対バルチック艦隊の砲撃訓練をし、その砲弾の痕が今も残っています。

明治時代には東京湾要塞地帯となり、多くの軍事施設が建設されました。今も残る戦争遺跡は、南房総市指定文化財として、平和を考えるための遺産となっています。

四季を通じて、ハイキング・磯遊び・キャンプが楽しめる公園で一度は訪れてみたい所です。